

糖尿病患者の血糖コントロール

65歳以上HbA1c8.0%未満

- 分子

~~a) HbA1c(NGSP)の最終値が7.0%未満の外来患者数~~

~~b) HbA1c(NGSP)の最終値が8.0%未満の65歳以上の外来患者数~~

- 分母

- 糖尿病の薬物治療を施行されている65歳以上※の外来患者数

- 過去1年間に糖尿病治療薬が外来で合計90日以上処方されている65歳以上※の患者

- ※調査期間の最終日時点で患者年齢が65歳以上

- 除外

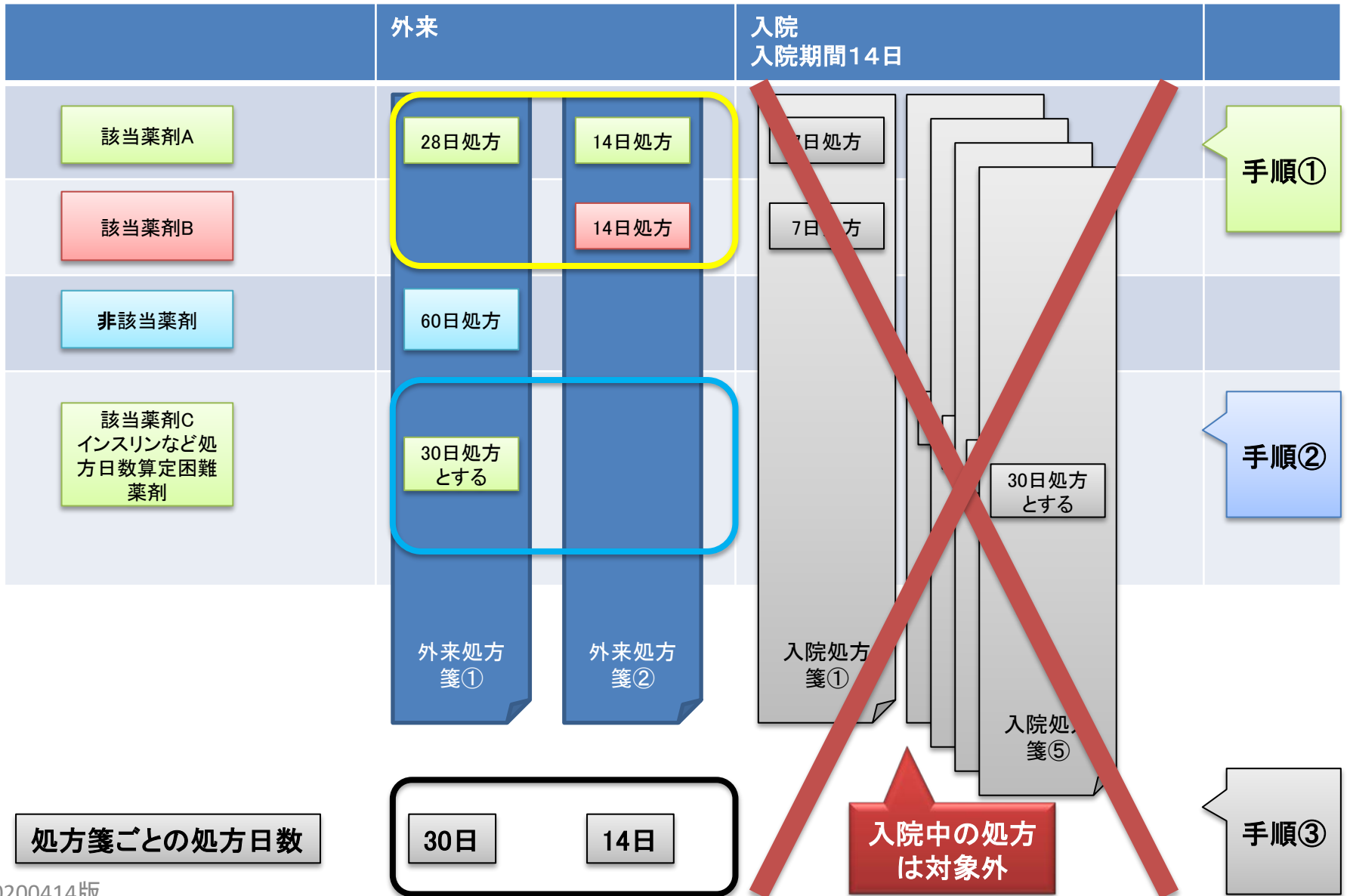
- » 運動療法または食事療法のみ患者

計算手順

- 手順① 調査期間中に自施設で発行されたすべての退院時処方箋および外来での処方箋ごとに「別表：血糖降下薬リスト」に該当する薬剤の処方日数を計算する
- 手順② インスリンなど処方日数算定困難薬剤は1処方あたり処方日数30日として計算する(注4)
- 手順③ 処方箋ごとに該当薬剤で最も長い処方日数をその処方箋の処方日数とする
- 手順④ 処方箋の発行日が調査期間外で処方日数が調査期間内になる場合、調査期間内にかかる処方日数を日数計算の対象とする
- 手順⑤ 処方箋の発行日が調査期間内で処方日数が調査期間外になる場合、調査期間内にかかる処方日数を日数計算の対象とする
- 手順⑥ 調査期間中の合計投与日数の計算
注1 処方日数の重なりや処方箋の発行日間隔は問わない
注2 退院時処方箋は外来発行処方箋と同様に計算する
- 手順⑦ 調査期間中に施行されたHbA1c(NGSP)の最終検査日とその値を求める(注5)
- 手順⑧ 調査期間中にHbA1c(NGSP)が一度も施行されていない場合には最終検査日、最終値とも空白とし、分母からは除外しない
注3 HbA1c(NGSP)最終検査日が初回処方日以前または処方日数が90日に達する前であっても調査期間中に検査が施行されていれば分母・分子から除外しない
- 手順⑨ 分母=調査期間の最終日時点で患者年齢が65歳以上かつ合計処方日数が90日以上かつ患者数、分子=調査期間の最終日時点で患者年齢が65歳以上かつ合計処方日数が90日以上かつHbA1c(NGSP値)が8.0未満の患者数とする。

計算手順詳細 手順①～③

- 手順① 調査期間中に発行されたすべての退院時処方箋および外来での処方箋ごとに「別表:血糖降下薬リスト」に該当する薬剤の処方日数を計算する
- 手順② インスリンなど処方日数算定困難薬剤は1処方あたり処方日数30日として計算する(注4)
- 手順③ 処方箋ごとに該当薬剤で最も長い処方日数をその処方箋の処方日数とする



計算手順詳細 手順④、⑤

手順④ 処方箋の発行日が調査期間外で処方日数が調査期間内になる場合、調査期間内にかかる処方日数を日数計算の対象とする

手順⑤ 処方箋の発行日が調査期間内で処方日数が調査期間外になる場合、調査期間内にかかる処方日数を日数計算の対象とする

	調査期間外	調査期間		調査期間外
手順④ 処方箋の発行日が調査期間外で処方日数が調査期間内になる場合、調査期間内にかかる処方日数を日数計算の対象とする	● →			
手順⑤ 処方箋の発行日が調査期間内で処方日数が調査期間外になる場合、調査期間内にかかる処方日数を日数計算の対象とする			● →	

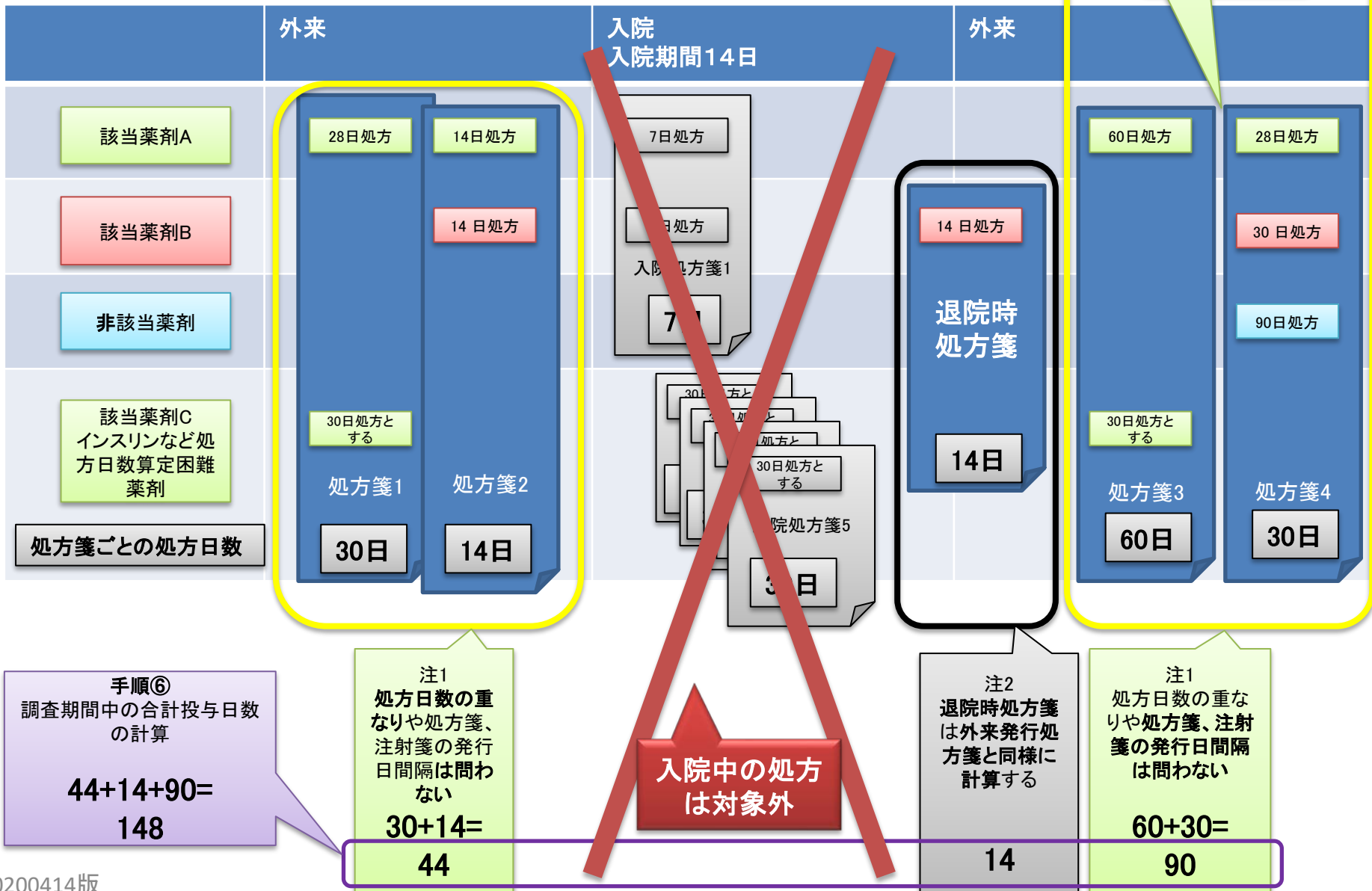
調査期間内にかかる日数のみを
日数計算の対象とする

計算手順詳細 手順⑥

手順⑥ 調査期間中の合計投与日数の計算

注1 処方日数の重なりや処方箋の発行日間隔は問わない

注2 退院時処方箋は外来発行処方箋と同様に計算する



計算手順詳細 手順⑦、⑧、⑨

手順⑦ 調査期間中に施行されたHbA1c(NGSP)の最終検査日とその値を求める(注5)

手順⑧ 調査期間中にHbA1c(NGSP)が一度も施行されていない場合には最終検査日、最終値とも空白とし、分母からは除外しない

注3 HbA1c(NGSP)最終検査日が初回処方日以前または処方日数が90日に達する前であっても調査期間中に検査が施行されていれば分母・分子から除外しない

手順⑨ 分母=調査期間の最終日時点で患者年齢が65歳以上かつ合計処方日数が90日以上 of 患者数、分子=調査期間の最終日時点で患者年齢が65歳以上かつ合計処方日数が90日以上かつHbA1c(NGSP値)が8.0未満の患者数とする。













施設コード	患者識別番号	合計処方日数	HbA1c最終検査日	HbA1c(NGSP)値	備考
011234567	00111111111	104	20100601	6.0	
011234567	00222222222	091			手順⑧
011234567	00333333333	200	20100512	10.3	
011234567	00444444444	154	20100411	7.0	
011234567	00555555555	123	20090801	5.8	

手順⑦

本計算手順では合計処方日数が365日を超える場合があるが、合計処方日数を365日とせず、365日を超えた計算値を入力のこと

注3: HbA1c(NGSP)最終検査日が初回処方日以前または処方日数が90日に達する前であっても、調査期間中に検査が施行されていれば分母・分子から除外しない

※「処方日数が90日に達する前」は最終検査日に係ります。

対象期間	2011/01/01  2011/12/31	
処方期間1	  	処方日数の合計が90日以上のため、分母対象
Case A	検査日1 	最終検査日が初回処方日以前だが、処方日数が90日あるため分母対象となり、検査日1が最終検査日となる。
Case B	検査日1  検査日2 	処方日数が90日に達する前であるが、90日以上あるため分母対象となり、検査日2が最終検査日となる。
処方期間2	 	処方日数の合計が90日以下のため、分母対象外
Case C	検査日1 	処方日数の合計が90日以下であるため、検査日がいつであれ対象外
Case D	検査日1  検査日2 	処方日数の合計が90日以下であるため、検査日がいつであれ対象外

注4.処方日数算定困難薬剤について

- 従来のインスリン製剤のように本数単位で処方される処方日数算定困難薬剤は一律30日で計算している定義ですが、近年更に期間が短い週1回投与などの薬剤が処方可能になっています。
- これらの薬剤を計算定義に含めることは困難なため、各施設で個別に計算していただくようお願いいたします。

注5.グリコアルブミンからHbA1cへの換算について

- 分子定義はHbA1cで算出していますが、透析患者などではHbA1cが低く算出されることも知られており、グリコアルブミンを用いた評価を実施している施設も多いかと思えます。
- グリコアルブミンからHbA1cへの換算式も報告されていますので、希望する施設は適切に換算の上、報告してください。

変更履歴

変更日	内容
2020/04/14	65歳以上の患者でのHbA1c8%未満の指標として移植し、指標定義を一部変更。
2020/04/14	注4、注5を追加